

2022年1月7日

当社ファイルサーバへの不正アクセス発生について(第2報)

パナソニック株式会社は、2021年11月26日付け「当社ファイルサーバへの不正アクセス発生について」にて公表したとおり、日本に所在する当社のファイルサーバが第三者による不正アクセスを受けたことを確認しました。

当社は、不正アクセスを確認後、緊急対策本部を立ち上げ、侵害調査と緊急対策の検討のために外部のセキュリティアドバイザーを起用し、被害の全容解明と再発防止に総力を上げて取り組んでまいりました。

調査の結果、判明した事実および当社の対応についてお知らせします。

本件に関して、関係する方々には、多大なご迷惑とご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

■調査で判明した事実

当社は、外部の専門機関と連携して、原因の究明や被害の内容等について調査を進めてまいりました。その結果、第三者が、当社海外子会社のサーバを経由し、日本のファイルサーバに不正アクセスを行った事実が確認されました。当該ファイルサーバ以外の業務システムへの不正アクセスは確認されませんでした。

なお、不正アクセスを受けたファイルの外部流出については、調査を尽くした結果、確証を得る事実は見つかっていませんが、当社としては、不正アクセスを受けたファイルが流出した可能性を想定し、下記の対応を進めてまいりました。

不正アクセスの対象となったファイルサーバに含まれる情報に関する調査結果は以下のとおりです。

(1)個人情報について

<一般消費者のお客様関連>

不正アクセスを受けたファイルサーバ内に、当社の一般消費者のお客様の個人情報に関するファイルは確認されていません。

<採用応募者関連、インターンシップ関連>

不正アクセスを受けたファイルサーバ内に、当社の採用に応募された方、および当社のインターンシップに参加された方の個人情報に関するファイルのうち、当社内の一部の事業部門が管理していた情報が含まれていることが確認されました。対象となる方には、順次、お知らせしています。

<お取引先関連>

不正アクセスを受けたファイルサーバ内に、当社のお取引先の役職員の個人情報に関するファイルが含まれていることが確認されましたが、業務上の連絡先情報が主でした。

(2)お取引先情報等

不正アクセスを受けたファイルサーバ内に、お取引先から提供を受けた業務関連情報や当社の社内情報に関するファイルが含まれていることが確認されました。当社にてその影響を分析するとともに、対象となるお取引先には、順次、個別に報告を行っています。

■対策および今後の対応

当社は、不正アクセスを検知後、海外拠点からの通信制限などセキュリティ強化を実施し、不正アクセスに用いられたアカウントのパスワードのリセットやファイルサーバ等へのアクセスの監視強化など、さらなる被害を防ぐための緊急措置を講じてまいりました。

さらなる精査を進めていく中で、新たにお知らせすべき重要事項が判明した場合は、速やかに開示いたします。

当社は、引き続き、情報セキュリティ対策の強化をしてまいります。今後、調査結果や外部の専門機関のアドバイスに基づき、より高度な情報セキュリティレベルを実現するために、ネットワーク、サーバ、パソコン等へのさらなる監視の拡大と、グローバルかつ一元的なセキュリティ監視体制の強化を行い、再発防止に取り組んでまいります。

以 上